

# 感情・人格心理学

2018～

科目コード

FF3550



単位数

履修方法

配当年次

担当教員

2

R or SR(講義)

2年以上

皆川 州正

※2018年度以降に入学した方が対象の科目です。2017年度以前に入学した方は履修登録できません。

※2017年度以前に入学した方は、p. 182「人格心理学」(科目コード：FF2511・FF2528、4単位、履修方法：RorSR)を参照してください。

## 科目の概要

### ■科目の内容

心理学は、行動の説明と予測、適応や成長、自己実現などを目的としています。日本神話の素戔鳴尊(スサノオノミコト)は、高天原で、乱行を続けます。なぜでしょうか。そして、天照大神は乱行が続くことを予測し、天岩戸に引き籠もりました。素戔鳴尊は髪の毛も爪も切り落とされ、惨めな姿で高天原を追放されました。誰にも相手にされない中、大気津比売神(オオゲツヒメノカミ)がご馳走します。ところが、素戔鳴尊は、短気を起こし、大気津比売神を斬り殺してしまいます。素戔鳴尊は、ただ一人やさしくしてくれた大気津比売神を思ひだし、涙を流して後悔します。そのとき、大気津比売神の目から稲が育ち、黄色く実ります。粗暴だった素戔鳴尊には優しさで知恵が備わりました(成長)。その後、八岐大蛇を退治し、奇稲田姫と結ばれ、草薙剣を手にし、天照大神に献上します(自己実現)。

素戔鳴尊の行動は短気という感情によって影響され、その感情は大気津比売神への認知によって変わりました。そこで、人格理解の基礎となる認知と感情と行動の関係、心理学における人格の概念、人格の発達や変化、人格に関するさまざまな理論(類型論、特性論など)を学びます。

### ■到達目標

- 1) 感情に関する理論及び感情喚起の機序について概説できる。
- 2) 感情が行動に及ぼす影響について概説できる。
- 3) 人格の概念及び形成過程について説明できる。
- 4) 人格の類型、特性等について概説できる。

### ■教科書(教科書2)は「福祉心理学」と共通

- 1) 岡田斉編『社会福祉士シリーズ2 心理学理論と心理的支援 第3版』(第9章の1・2、第3章など) 弘文堂、2018年(第3版でなくても可)
- 2) 小松紘・木村進編『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(第3部第1章第2節、第2章など) 八千代出版、2009年

(最近の教科書変更時期) 2018年4月

※教科書2)は「福祉心理学」で配本のため、この科目では教科書1)のみ配本いたします。

### (スクーリング時の教科書)

上記教科書1)『心理学理論と心理的支援』は必ず所持ください。

### ■履修登録条件

この科目は「福祉心理学」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できません。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価50%+スクーリング評価 or 科目修了試験50%

### ■参考図書

加藤孝義著『パーソナリティ心理学—自分を知る・他者を知る』新曜社、2001年

河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館、1967年(※ユングの類型論について詳しい)

前田重治著『図説 臨床精神分析学』誠信書房、1985年

諸富祥彦著『カール・ロジャーズ入門—自分が“自分”になるということ』コスモスライブラリー、1997年

諸富祥彦『自己成長の心理学—人間性/トランスパーソナル心理学入門』コスモスライブラリー、2009年

A. H. マズロー著 小口忠彦訳『人間性の心理学—モチベーションとパーソナリティ』(改訂新版) 産能大出版部、1987年

A. H. マズロー著 上田吉一訳『完全なる人間—魂のめざすもの』(第2版) 誠信書房、1998年

本明寛他編『性格心理学新講座』全6巻、金子書房、1989~1990年(「性格の理論」「性格形成」「適応と不適応」「性格の理解」「カウンセリングと心理治療」「ケース研究」)

大淵憲一・堀毛一也著『パーソナリティと対人行動』誠信書房、1996年

小川捷之・詫摩武俊・三好暁光編『パーソナリティ』(臨床心理学大系第2巻) 金子書房、1990年(※自我・自己、人格の障害について詳しい)

小野直広編『生徒指導』(新教育心理学体系3) 中央法規出版、1993年(※人格の理解の方法について詳しい)

M. セリグマン著 山村宜子訳『オブティミストはなぜ成功するか』講談社、1994年

島井哲志編『健康心理学』(現代心理学シリーズ15) 培風館、1997年

清水弘司著『はじめてふれる性格心理学』(ライブラリ心の世界を学ぶ3) サイエンス社、1998年

杉山憲司・堀毛一也編『性格研究の技法』福村出版、1999年

瀧本孝雄著『性格のタイプ—自己と他者を知るための11のタイプ論』サイエンス社、2000年

詫摩武俊監修『性格心理学ハンドブック』福村出版、1988年

詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊編『性格心理学への招待（改訂版）—自分を知り他者を理解するために』サイエンス社、2003年

詫摩武俊・鈴木乙史・清水弘司・松井豊編『人間と性格』シリーズ全 8 巻、ブレーン出版、1999～2001年（「性格の理論」「性格の発達」「性格と対人関係」「性格の変容と文化」「性格研究の広がり」「性格の測定と評価」「性格の不適応」「性格の病理」）

丹野義彦著『性格の心理—ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ』サイエンス社、2003年

戸田まり・サトウタツヤ・伊藤美奈子著『グラフィック性格心理学』サイエンス社、2005年

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

心理学は、個人や集団の理解、行動の予測、適応や成長の援助などを目的としています。とりわけ、人格心理学は、その人らしさをどう理解するのか、そしてその人の行動をどの程度予測することができるのか、その人らしさの強みを活かし、弱みを補って適応や成長を図るにはどうしたらよいかのかが問われているでしょう。また、そのためにさまざまな見方や理論が展開されています。そのような問題意識をもって学んでほしいと思います。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	人格・性格・気質とは	心理学における人格の定義、人格と性格と気質の違い、研究の課題と臨床における応用について学ぶ。
2	クレッチマーのタイプ論、ユングのタイプ論	タイプ論の基本的な考え方、利点と欠点について学ぶ。代表的なタイプ論として、クレッチマーの類型論とユングの類型論を取り上げて、その考え方と応用について学ぶ。
3	タイプA・C、アイゼンクのタイプ論	人格と健康の関連として、タイプAとタイプC、アイゼンクのタイプ論について学ぶ。
4	キャッテルとアイゼンクの特性論、特性5因子モデル	特性論の基本的な考え方、利点と欠点について学ぶ。代表的な特性論として、キャッテルとアイゼンクの特性論、特性5因子モデルを取り上げ、その考え方と応用について学ぶ。
5	状況論・相互作用論	ミッシェルによる状況論と「人—状況論争（一貫性論争）」と、その後の展開、特に相互作用論について学ぶ。人の行動に影響を及ぼしている状況の力やナラティブ（物語）についても学ぶ。
6	フロイトの力動論	代表的な力動的構造論として、フロイトの精神分析理論を取り上げ、その考え方と応用について学ぶ。
7	アドラー心理学、ユング心理学、アサジョーリの精神統合理論	無意識について、フロイトとは異なる視点からとらえたフロイトの弟子たちの考え方とその応用について学ぶ。

8	総括と質疑応答	これまでの人格理論について総括し、補足する。質疑応答を行う。
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。途中、人格理解のためのワークも行います。教科書と視聴覚教材も適宜使用します。

### ■スクーリング 評価基準

試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います（持込可）。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書1）の第3章と教科書2）の第3部第2章は読んできてください。

## レポート学習

### ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	人格の定義	心理学における人格の定義、人格と性格と気質の違いについて学ぶ。	日常生活で用いている「人格」の意味と心理学で用いている「人格」の意味の違いについて考えてみましょう。
2	感情に関する理論及び感情喚起の機序	感情に関する理論（ジェームズ＝ランゲ説、キャノン＝バード説、シャクターの理論など）、感情がどのようにして喚起されるのかについて学ぶ。	「悲しいから泣く」「泣くから悲しい」「笑顔を見ると幸せな気持ちになる」。日常生活での経験に照らし合わせて、考えてみましょう。
3	感情が行動に及ぼす影響	感情（抑うつ、怒り、高ぶりなど）が行動に及ぼす影響について学ぶ。	抑うつではやる気が出ず、怒りから事故や事件になることもあります。日常生活での経験に照らし合わせて、考えてみましょう。
4	類型論	類型論の考え方、利点と欠点について理解する。代表的な理論として、クレッチマーの類型論とシェルドンによる研究、ユングの類型論、その他の類型論について学ぶ。	クレッチマーの着想は臨床経験から、ユングの着想はフロイトとアドラーの見方の違いがどこからくるのかと考える中で生まれました。理論が生まれた背景のエピソードにも目を向けるとよいでしょう。自分自身の類型について考えてみましょう。
5	特性論	特性論の考え方、利点と欠点について理解する。代表的な理論として、キャッテルとアイゼンクの研究、特性5因子モデルについて学ぶ。	人格特性はオルポートによって提唱されました。オルポートはフロイトのもとを訪れ、失望したことから、新たな理論が作られました。特性論は因子分析という統計的手法によって発展し、今日盛んとなっている質問紙法の人格検査をもたらしました。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
6	状況論と相互作用論	ミッシェルによる状況論と「人-状況論争（一貫性論争）」と、その後の展開、特に相互作用論について理解する。	ミッシェルは、平和部隊としてナイジェリアに派遣される若者達の派遣後の適応などをロールシャッハ・テストや特性質問紙人格検査によって予測しましたが、結果は思わしくありませんでした。そのことから、人格の定義そのものに疑問を投げかけました。
7	力動的構造論	力動的構造論の考え方、利点と欠点について理解する。代表的な理論として、レヴィンの場の理論、フロイトの精神分析理論、ユング心理学、アドラー心理学、アサジョーリによる精神統合理論について学ぶ。	力動とは、2つの力のぶつかり合いを意味します。そこで、まず、その人が心の中でどのような葛藤をいだいているのか、考えてみましょう。
8	交流分析理論	交流分析における自我状態の構造分析、脚本分析（禁止令とドライバー）、交流パターン分析、ゲーム分析、ストローク理論、基本的構え、時間の構造化などについて学ぶ。	交流分析では、自律的な人間をめざし、そのためには「気づき」「自発性」「親密性」の要素を高めることが必要と考えています。交流分析によって、気づき、自発性、親密性がどのように高められるのかを考えてみましょう。
9	人間性心理学	代表的な理論として、マズローの欲求階層説と自己実現論、ロジャーズの自己理論について学ぶ。	人間性心理学が生まれた背景にも目を向けながら学ぶとよいでしょう。そして、自分自身の欲求の段階、経験と自己概念の不一致について考えてみましょう。
10	学習論、認知論	恐怖症、攻撃行動、無気力、社会的行動が学習によるという見方について学ぶ。認知の個人差が課題解決や社会的感受性、不安や抑うつと関連していることを学ぶ。	自らの認知や行動について自己観察し、認知や行動の変容が生じやすいような工夫を考えてみましょう。
11	自我・自己	自我・自己の概念と分類、自我・自己の形成、自我・自己の機能、自我の強さ（成熟度）について、学ぶ。	自分という意識が行動にどのように影響しているか、自己観察してみましょう。「これでいいんだ」「これも成長のための経験、学ぶ機会」と自己受容してみましょう。
12	自己実現	自己実現・自己超越のとらえ方、自己実現の成長過程、自己実現の留意点について学ぶ。	歴史上の人物や有名人の自己実現について考えてみましょう。 吉田松陰は「私心さえ除き去るならば、進むもよし退くもよし、出るもよし出ざるもよし」といいました。私心について考えてみましょう。
13	人格の形成・発達と変化	人格の形成における遺伝的要因、個体内要因、環境的要因、主体的要因について学ぶ。人格の変化と役割性格の変化について学ぶ。	リンカーンは「40歳を過ぎたら、自分の顔に責任を持たなくてはならない」といいましたが、人格も生涯発達することが可能です。自らの人格形成について考えてみましょう。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
14	人格の障害・病理	葛藤と欲求不満、防衛機制について学ぶ。パーソナリティ障害について、症状やタイプの違いについて学ぶ。	問題行動の背後にある葛藤や欲求不満について考えてみましょう。パーソナリティ障害はパーソナリティの偏りを意味します。タイプごとに歴史上の人物や有名人を考えてみましょう。
15	人格と健康との関連	タイプAとタイプC、H因子とD因子、うつ病親和性性格、ハーディネスとレジリエンシーについて学ぶ。	人格とストレスが相まって健康に影響を及ぼすことが知られています。心疾患になりやすい人、癌になりやすい人、うつ病になりやすい人、ストレスに強い人、ストレスに打ちひしがれても回復する人について考えてみましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。
2 単位め	力動的構造論の一つをとりあげ、その力動的構造論の観点から、心理的不適応の具体例について考察しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

### 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、別紙の客観式レポート課題に解答してください。「TFUオンデマンド」上で解答することも可能です。

### 2 単位め アドバイス

教科書1)の第3章の2のD(力動的構造からみる)と第11章の1のA(精神分析と分析心理学)あるいは第11章の1のE(交流分析)をよく読んで取り組んでください。力動的な人格理論は、障害や心理的不適応を説明するために臨床的知見から得られた理論でもあります。心理的不適応の具体例については、身近な人や社会的な事件、臨床的な事例などをとりあげて理解を試みてください。そして、教科書を参考に、力動的構造論の立場から、その具体例の人に対してどのように援助していったら心理的適応を促すことになるかについても考えてみてください。

## 科目修了試験

### ■評価基準

内容理解が一番のポイントになる。また、キーワードの記載、記述の分量(1問あたり400~1,200字程度)も評価の対象となる。